

Traditional Tales Stage 4 'The Foolish Fox'

p.3

キツネは自分の畑を持っていましたが、畑仕事がいそいでした。

p.4

そこでキツネはヒツジたちにむかって言いました。
「おれのかわりに野菜を育てれば、少し分けてやるぞ」

p.5

するとヒツジが聞きました。「それは野菜の上の方ですか？下の方ですか？」
「上の方だ」とキツネが答えました。

p.6

そこでヒツジはトウモロコシのたねを植えました。

p.7

トウモロコシの背がすっかり高くなると、ヒツジはさっそくトウモロコシを刈り取りました。

p.8

そして、キツネにはトウモロコシの根っこの部分を持っていきました。

p.9

「こんなもの食べられるか！」と言ってキツネは怒りました。まんまとヒツジにだまされたのです！

p.10

そこでキツネは言いました。
「来年はおまへたちには野菜の下の方をやる」

p.11

そこでヒツジは今度はカブのたねを植えました。

p.12

カブが大きくなると、ヒツジは早速カブを掘り出しました。

p.13

そしてキツネにはカブの葉っぱの部分を持っていきました。

p.14

「こんなもの食べられるか！」と言ってキツネは怒りました。また、まんまとヒツジにだまされたのです！

p.15

それからというもの、キツネは自分で畑仕事をするようになりました！

Traditional Tales Stage 4 'Hans in Luck'

p.2

むかしむかし、ハンスという少年がおかあさんに会いに旅に出ました。

p.4

外はとても暑く、おまけにハンスは銀をたくさん持っていました。

p.5

「あの馬は足が速そうだ」ハンスは言いました。

p.6

馬の持ち主は、「その銀とこの馬をかえてやってもいいよ」と言いました。

ハンスは、「そいつは運がいいぞ！」と言いました。

p.7

ところがハンスはその馬から落っこちてしまいました。

「イタタタ！」

p.8

しばらく行くと、今度は牛を飼っているお百姓さんに出会いました。

「ぼくは牛乳が好きなんだ」とハンスは言いました。

p.9

お百姓さんは、「その馬とこの牛をかえてやってもいいよ」と言いました。

ハンスは、「そいつは運がいいぞ！」と言いました。

p.10

ところがその牛は牛乳が出ませんでした。

「あ～あ……」

p.11

今度は、にわとりを飼っている人に会いました。

その人は、「その牛とこのにわとりをかえてやってもいいよ」と言いました。

ハンスは、「そいつは運がいい！ぼくは卵が好きなんだ！」と言いました。

p.12

ところがそのにわとりはくちばしでハンスをつつきました。

「イタタタ！」

p.13

また少し行くと、今度は粉ひきに会いました。粉ひきは石うすを持っていました。

「こいつは運がいいぞ！これでパンを作ろう！」ハンスは言いました。

p.14

ところがハンスはその石うすを深い池の底に落としてしまいました。

「あっ！」

p.15

重い石がなくなったので、ハンスの足どりは軽くなりました。

そしてハンスは言いました。「おかあさん、ぼく、とっても運がよかったんだよ！」

Traditional Tales Stage 4 'Three Rocks'

p.2

ある冬のこと、1人の男が小さな町にやってきました。

p.4

町の人たちは口々に言いました。

「おまえにやる食べものなんかないよ。さっさと出ていき！」

「あの男を追い出しとくれ！」

p.5

しかしその男は言いました。

「私はみなさんにおいしいごちそうを作ってさしあげます」

p.6

男は大きなおなべを用意しました。

そしておなべの中に大きな石を3つ入れました。

p.7

男は言いました。

「いいにおいがしてきました。でもここにスープストックを入れたらもっとおいしくなりますよ」

「あらおいしそう！」

p.8

男はおなべにスープストックを入れて、3つの石とよく混ぜました。

p.9

男はまた言いました。

「いいにおいがしてきました。でもここにポロねぎとカブを入れたらもっとおいしくなりますよ」

「うーん！うまそうだ！！」

p.10

男はおなべにポロねぎとカブを入れて、3つの石とスープストックとよく混ぜました。

p.11

「いいにおいがしてきました。でもここにローストチキンを入れたらもっとおいしくなりますよ」

「そりゃあ、うまそうだ！！」

p.13

男はおなべにローストチキンを入れて、3つの石とスープストックとポロねぎとカブとよく混ぜました。

p.14

「これはおいしい！」

町の人たちは口々に言いました。

「うまい、うまい！」

p.15

そのとき、子どもたちが言いました。

「だけどおじさんは材料をおなべに入れただけじゃない！」

Traditional Tales Stage 4 'Tom, Dad, and Colin'

p.3

トムは町をめざして、歩きはじめました。
おとうさんはロバのコリンに乗っていました。

p.4

トムは長くけわしい道のりを、とぼとぼと歩いて行きました。

p.5

するとある人がおとうさんのところにやってきて言いました。
「その子をロバに乗せてやれ」

p.6

そこでおとうさんはコリンからおりて、かわりにトムを乗せてやりました。

p.7

おとうさんは長くけわしい道のりを、とぼとぼと歩いて行きました。

p.8

するとまた別の人がトムのところにやってきて言いました。
「お父さんも一緒に乗せてやれ」

p.9

そこでおとうさんもコリンに乗りました。

コリンは長くけわしい道のりを、パカパカパカパカ歩いて行きました。

p.10

するとベンチに座っていた人がトムとおとうさんに向かって言いました。
「そのロバを休ませてやれ」

p.11

そこでトムとおとうさんはコリンからおりて、かわりにふたりでコリンを背負いました。

p.12

トムとおとうさんは、長くけわしい道のりをヨロヨロヨロヨロ歩いて行きました。

p.13

町についてみると、大勢の子どもたちがトムとおとうさんをジロジロみえています。
ふたりははずかしくなりました。

p.14

そばに池がありましたが、ふたりは気づきません。
すると……バツシャーン！
トムとおとうさんはコリンを背負ったまま、池に落ちこちてしまいました。

p.15

ふたりはもうへとへと。すっかりびしょぬれになってしまいました。そしてコリンはというと……

コリンもやっぱりびしょぬれでした！